

「活躍する地域の代協」

都道府県代協レポートリレー

第81回

広島県代協

平和への思いを胸に、
地域とともに歩む広島県代協

― 平和記念公園の清掃活動と「友愛の碑」に込められた思い ―

広島県代協では、地域に根差す損害保険代理店として、地域社会への貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

広島は、世界で初めて原子爆弾が投下された都市として、平和への願いを世界に発信し続けているまちです。平和記念公園前の平和大通りには、損害保険業界にとって大切な「友愛の碑」が建立されています。「友愛の碑」は、原爆投下から20年が経過した1965

(昭和40)年、原爆によって犠牲となった損害保険会社職員89名の慰霊と、平和への礎となることを願い、当時の広島地方委員会(現在の日本損害保険協会中国・四国支部の前身)が中心となって建立したものです。碑に刻まれた4つの十



平和記念公園で

たが、代理店の皆さまと理事が一緒になって、公園内の環境美化に汗を流しました。平和記念公園は、広島を訪れる国内外の多くの方々が平和について考える大切な場所です。その場所を自分たちの手で清

字形は、人間の姿を表すとともに東西南北、すなわち全世界を意味しています。その上にあるもう一つの十字形は、原爆犠牲者を表しています。そこには、全世界の人々が愛と良心をもって原爆犠牲者の冥福を祈り、恒久平和を願うという深い思いが込められています。毎年8月6日の「広島原爆の日」には、損害保険関係者が「友愛の碑」に集まり、献花・参拝を行うとともに、原爆投下時刻の午前8時15分には黙とうを捧げ、犠牲者を悼み、恒久平和を祈念します。

私たち広島県代協も、平和への思いを大切にしながら、地域貢献活動を継続しています。7月9日の理事会終了後には、広島市内の代理店の皆さまにご協力いただき、平和記念公園周辺の清掃活動を行いました。暑い中での活動となりましたが、

私たちが広島県代協も、平和への思いを大切にしながら、地域貢献活動を継続しています。7月9日の理事会終了後には、広島市内の代理店の皆さまにご協力いただき、平和記念公園周辺の清掃活動を行いました。暑い中での活動となりましたが、

たが、代理店の皆さまと理事が一緒になって、公園内の環境美化に汗を流しました。平和記念公園は、広島を訪れる国内外の多くの方々が平和について考える大切な場所です。その場所を自分たちの手で清

は、広島を訪れる国内外の多くの方々が平和について考える大切な場所です。その場所を自分たちの手で清